



松戸市では、個別事例について話し合う『地域個別ケア会議』と、地域課題について話し合う『地域包括ケア推進会議』、地域の課題を市全体で共有し話し合う『松戸市地域ケア会議』があります。

令和1年11月に今年度第2回目の『小金地域包括ケア推進会議』が行われ、「地域の見守り体制」について話し合われました。地域の中で日頃行われている見守りは、災害時にも心強い顔の見える関係を築きます。松戸市、小金で行われている数々の見守り支援についてご紹介します。

第3号 令和2年3月作成
編集・発行
小金高齢者いきいき安心センター
(小金地域包括支援センター)
松戸市小金3番地 高橋ビル4階
TEL 047-374-5221
FAX 047-349-0560

【参加機関】

町会・小金地区社会福祉協議会・高齢者支援連絡会・民生委員児童委員協議会・松戸東警察署生活安全課・松戸市消防局・松戸市子ども家庭相談課・松戸市小金保健福祉センター・松戸市高齢者支援課・小金高齢者いきいき安心センター

松戸市高齢者等見守り活動

松戸市では、事業者等と連携して、「松戸市高齢者等見守り活動」を実施しています。平成30年より見守り活動の対象者を、高齢者、障害者、子どもへと広げ、安心して暮せる街づくりを目指しています。

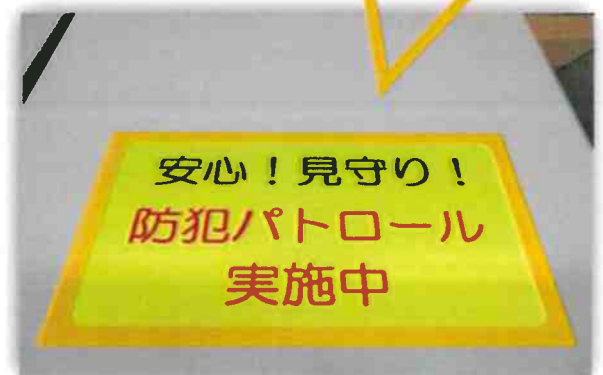
【松戸市高齢者等見守り活動に関する協定書】

市内で活動する事業所等が配達などの日常業務を行う際に、高齢者等が心配な状況にあることを発見した場合、市に連絡をもらい、連絡をもらった市が状況の確認などを行うという取り組みになっています。協力いただける事業所等と「松戸市高齢者等見守り活動に関する協定書」等を締結し、見守り体制を築いています。

<締結事業者等>

株式会社セブン-イレブン・ジャパン、生活協同組合コープみらい、生活協同組合パルシステム千葉、ミルクセンター松戸れ・しいな、ワタミフードシステムズ株式会社、布亀株式会社、生活クラブ生活協同組合、アルフレッサ株式会社、日本郵便株式会社、株式会社コモディイイダ、松戸市特別養護老人ホーム連絡協議会、ヤマト運輸株式会社、松戸市認知症高齢者グループホーム協議会、松戸市小規模多機能型居宅介護連絡会、松戸市福祉用具事業所協議会、松戸市訪問介護事業所連絡協議会、松戸市通所介護事業所連絡協議会、松戸市訪問看護連絡協議会、松戸市居宅介護支援事業所連絡協議会

協定締結事業者の方々に「安心！見守り！防犯パトロール実施中」のマグネットシートを配布し、現在市内ではマグネットシートを掲げた事業者車両等による見守り活動が行われています。



見守りシール

行方不明になった高齢者の発見者がQRコードを読み取り、伝言板を通じて介護者とのやり取りが行えます。

詳しくは、松戸市役所 高齢者支援課にお尋ねください。

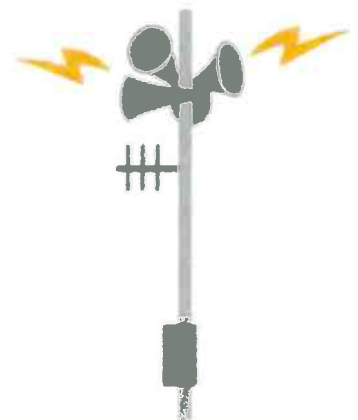
(☎ 047-366-7346)



【防災無線】

～すぐやる課連携～

防災無線は、松戸市役所すぐやる課と連携をとりながら行っており、無線が流れるとその地域をすぐやる課が見守りしてくれます。



地域での見守り活動

町会の取り組み①

『みまもり隊』(東平賀町会)

平成26年より、75歳以上の高齢者の名簿を作り、町会の婦人部で見守り活動を開始した。現在は、町会役員とボランティアの計6名で続けている。また、エリアを3つに分け、高齢者独居世帯や高齢夫婦世帯を出来る限り回って日誌をつけ、3か月に1回ほど会議を開催し、情報交換を行っている。

◆見守り活動の中での課題：

見守っているお宅に安否確認で訪問したが応答がなく警察を呼んだ。家族が病院に連れて行っていたのだが、自宅の電話番号しか把握がなく、中で倒れているのか確認が困難だった。緊急時に活かせる名簿を作るには、本人の自宅の電話番号だけでなく、緊急連絡先となる家族の電話番号も把握しておく必要がある。

町会での取り組み②

『小金っこ見守り隊』

発足の動機：「児童の登下校時の安全を守りたい～子供が事件に巻き込まれないために地域で見守る～」

●地域安全会議の設置〔平成30年10月26日〕

- ・地域安全会議とは・・・児童の安全確保の計画立案
- ・構成員・・・小金小学校学区内の14町会とPTA、学校関係者、その他市役所、警察にも必要時意見を求める。

こんなことをしています。(一部紹介)

- * 小金小学校区の見守り隊を新設
- * 見守り会議を設ける
- * 道路付属施設や防犯カメラ、防犯灯の増設
- * 通学路点検
- * **ながら見守り**や110番子供の家を設置
- * 不審者情報の共有(声かけ事案等の発生個所などのリスクマップを作成)



ながら見守り・・・

いつでもやさしい気持ちで周りに目を向けていることが、ながら見守りとなるのでしょうか。困っていないかな……。安全かな……。

『民生委員による見守り・声かけ』

民生委員は、ひとりで何百世帯も担当していて、希望のある世帯等には見守り訪問をしている。訪問時は火災探知機や詐欺の注意喚起、地域の活動、イベントの案内など人との繋がりが少しでも出来る様に活動している。しかし、災害が起きて、みんなが一斉に助けを必要とする事態になれば、ひとりでは回り切れない。

【それぞれの見守りの現状と課題】

日本人の平均寿命は今や男女ともに80歳を超えています。平均寿命を調べ始めた明治時代の第1回目実施調査(明治24～31年)では、平均寿命は男性は42.8歳、女性は44.3歳だったそうです。平均寿命の伸びとともに、元気な高齢者が増えていますが、健康状態に差が出てくるのも確かです。仕事に出ている若い世代は、なかなか町会活動に参加する人が少なく、町会役員は高齢化してきています。しかし、災害時や日常的な困りごとは、身近な地域での支え合いが必要です。地震で家が崩れた時、外に逃げ出して早く気づいてくれるのは隣近所になるのではないのでしょうか？若い人の町会役員への参加は、どこの地域でも求められている様です。行政サービスや福祉サービス、民間サービスと多様な見守り支援が広がっています。それも大いに活用できるとよいですが、自分での準備、地域での支え合いが重要になってきます。また、個人情報取り扱いに慎重になるあまり、お互いの緊急連絡先が分からず、非常時の対応に時間がかかってしまう場合もあります。地域とのつながり方を見直してみるのもよいのでは。

松戸に新しく始まった企業での取り組み



ネコサポステーションテラスモール松戸店

〒270-0023 千葉県松戸市八ヶ崎 2-8-1

テラスモール松戸 3F

営業時間 / 10:00 ~ 21:00

松戸市とヤマトグループは、2018年12月に「高齢者等見守りに関する協定」を締結し、見守り活動を行ってきました。2020年1月にさらなる相互連携を図るため、千葉県松戸警察署・千葉県松戸東警察署と共に「地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定」を締結し、松戸市にお住まいの方々が住み慣れた地域で、安全に、安心して暮らし続けられる地域共創社会の実現を目指し、官民一体となって取り組んでいます。

くらしのネコの手サポート「ネコサポ」

(クロネコヤマトが行う『ネコサポステーション』)

家事やお買い物、住まいのあれこれ。地域の皆さんの「頼みごと」に答えるサービスを行っています。

＜サービスを一部ご紹介＞

- 困りごとの相談
- 買い物サポートサービス(例: 電話注文→お届け)
- 家事サポートサービス(例: 窓ガラスの清掃、網戸の張替え、壁紙・襖・障子の張替え、ゴミ出し、電球交換、草むしり など)
- その他の便利なサービス(布団丸洗いサービス など)
- ネコサポイベント(例: 音楽会、脳トレエクササイズ、親子ヨガ教室 など)

松戸陽だまり館の 配食サービスが始まりました



特別養護老人ホーム「松戸陽だまり館」が高齢者向け配食サービスを始めました。お弁当の配達を通じ、安否確認を行います。

- 対象は、原則65歳以上の高齢者ですが、ご家族も一緒にご利用いただけます。
- 令和2年4月からは、松戸市の「在宅高齢者配食サービス事業」を受託します。夕食を直接手渡することで安否確認を行います。＜対象者要件があります＞

お問い合わせ窓口: 松戸陽だまり館(担当: 河崎)

TEL 047-374-6311

FAX 047-374-6011

緊急通報装置

(松戸市在宅高齢者向けサービス)

市の助成を受けるには、要件があります。申請は地区を担当する民生委員を通じて行います。自費での利用も可能です。

* 利用者が緊急時に緊急通報ボタンを押すと ALSOK の受信センターへ通報されます。

必要に応じて隊員が現場にかけつけます。

* 利用者宅ライフリズムセンサーが 24 時間反応しなかったら ALSOK の受信センターへ異常警報が通報されます。

詳しくは、担当のケアマネジャー、民生委員、高齢者いきいき安心センター、松戸市役所介護保険課におたずねください。

【地域で見守り活動を行っている組織 お問い合わせ窓口】

・民生委員児童委員 市役所地域福祉課 047-366-3019

・高齢者支援連絡員 高齢者支援連絡会事務局 047-343-8691

※地区により担当者が決まっています。



オレンジ協力隊 パトウォーク

※【オレンジ協力隊】

認知症サポーター養成講座を受講し、オレンジ協力員の登録を行った人で、活動に賛同している人で結成。

活動内容

- ◆オレンジ協力員の活動の周知
(右のチラシを配布)
- ◆希望される高齢者世帯への個別訪問による見守りと声かけ
- ◆高齢者いきいき安心センターとの協力・連携

「〇〇さんは近所の人のためにお野菜作っているって話していた。いつまでも人の為に何かするの、素敵だね・・・」
なんて、個別訪問した先での、出会いについて振り返るのも良いものです。



オレンジ色の無地のタスキが目印です

小金のみなさん！

オレンジ協力員をご存知ですか？

オレンジ協力員は、医療・介護の専門職と一緒に認知症の人や家族の支援を行うボランティアです。



認知症の人に限らず、困っている高齢者



定期的に様子を、認知症について安心できるかけたら、声をかけサポートします。



地域のカフェなど、みんなが集まる場所



オレンジリングが目印です！！

こんな活動をしています！
何かあればご相談下さい。

連絡先：小金高齢者いきいき安心センター
電話：047-374-5221
受付時間：月曜～金曜 8時半～17時（土日・祝日除く）

認知症サポーター養成講座 ～講座を受けて、認知症サポーターになりましょう！！～

認知症サポーターは、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族を温かい目で見守る地域の応援者です。講座受講後、任意で「オレンジ声かけ隊」や「オレンジ協力員」として松戸市に登録できます。受講対象は、小学生から高齢者まで幅広く、小金地区では講座を受講してキッズサポーターとなった小学生もいます。認知症の人が住みやすい街はみんなが住みやすい街。温かい見守りの目を広げていきましょう。

講座については、小金高齢者いきいき安心センターまでお問い合わせください。(☎ 047-374-5221)

【認知症高齢者への対応】～こんな時～

○「財布や通帳を盗まれた」と言う、家族や介護者に疑いをかける

【かわり方のヒント】

- あせって否定したり説得したりせず、本人が探させるように一緒に探す。
- 日頃から、本人がものをしまう場所をさりげなく確認しておく。
- くり返される場合は深入りせず、高齢者いきいき安心センターに相談する。
- ♥ 本人のその時の思いや求めていることに関心を持つことが大切です

